

Weekly コラム

平成 27 年 9 月 29 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

景色が変わる8分前

近年、スマートフォンやゲーム機、パソコンの普及により視力の低下が著しく進んでいます。統計によると、日本人全体でメガネ使用者とコンタクトレンズ使用者を合わせれば、国民の約7割に達する事が明らかになっています。そんな中で超音波治療やレーシック手術といった視力回復方法が注目を集めていますが、現在新たに開発、注目されている視力回復方法がバイオニックレンズです。

バイオニックレンズは、カナダの検眼医ガース・ウェップ氏により、現在開発されているもので、見た目はコンタクトレンズ同様の、人体に無害なポリマー素材で出来た特殊なレンズです。コンタクトレンズと違う点は、このレンズを眼球に直接固定するという点です。手術はごく簡単で、専用の注射器のような道具を使用し、器具の中に折りたたまれたバイオニックレンズを生理食塩水とともに眼球に注射すると、レンズは眼球の中で展開し固定されます。レンズを入れるという面で白内障の治療とよく似ていて、患者は痛みを感じることもなければ、入院の必要もなく、手術はなんと8分で済みます。

その効果は、個人個人の視力に合わせた完全オーダーメイドなので、現在の視力に関わらず、標準視力1.0の3倍はハッキリと見えるようになると言われていました。また、レンズは目の中で劣化することなく、

1度埋め込めば生涯に渡って視力を保つ事が可能とされています。更に、レーシック手術のように自然治癒のために効果が弱まってしまわないため、レーザーを使うレーシック手術よりも安全性が高いと考えられています。また、レンズを付けることにより、白内障になる心配がなく、現在のところ後遺症や副作用は報告されていないので、視力回復方法としては「安全」という評価を得ています。

このバイオニックレンズですが、早ければ2017年に実用化されて市場に出回る見込みです。価格は38万円程度とされ、25歳以上で手術可能とされる予定です。しかし、バイオニックレンズは自然な視力低下を防ぐ事はできず、また、装着後に裸眼の視力が低下してしまうと、現状ではレンズの追加や取り外しはできません。そういった面を考えれば、実用化後にリスクが表面化する事も考えられますので、慎重な判断は必要になりそうです。バイオニックレンズだけでなく、現在は医療の発達で色々な病気や怪我の治療が可能になりました。しかし、どれだけ医療が発達しても、元以上に良くなる事はありません。結局は普段の生活から視力の低下を予防するように心掛ける事が何より重要なかもしれませんね。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。